

乳がん知識啓発 「ピンクリボンキャンペーン」

私たちが大切に考える3つの分野 ▶ 〈地球との共生〉 〈地域社会への貢献〉 〈次世代育成〉



01. ピンク色の肩章を着用した運航乗務員も新鮮な気持ちです！
02. サントリーフラワーズご提供のプリンセチアをお客さまにお渡ししました。03.05. 昨年は東京スカイツリータウン®にて啓発活動を行いました。04. 今年のピンクリボンフライトのイベントの様子。

「ピンクリボン
キャンペーン」とは？

皆さまは「ピンクリボンキャンペーン」をご存じでしょうか。ピンクリボンは、乳がんに関する正しい知識を持つ大切さを啓発するシンボルとして、世界中で知られています。先月10月は、そのキャンペーン啓発強化月間でした。JALは、ピンクリボンキャンペーンの主旨に賛同し、2004年よりエステイロージャーグループと共同で、啓発活動を実施しています。エステイロージャーグループがピンクリボンキャンペーンを始めて25年目となる今年、「乳がんのない世界へ」というスローガンのもと、本キャンペーンの認知度向上に努めました。

今年は運航乗務員も
一緒に活動しました

女性が働き続けるための環境整備を含め、女性人財の活躍を積極的に

ンクリボンフライトを通じて、より多くのお客さまに関心を持っていただく機会となりました。

運航乗務員がピンクリボンキャンペーンに参加するのは今年が初めてでしたが、ピンクの肩章を着用する企画は、運航乗務員ら自らが発案したものです。肩章のデザインは、エステイロージャーグループにご協力をいただき、先述のピンクリボンフライトに加えて、10月の1カ月間、この活動に賛同する運航乗務員が着用しました。ピンクの肩章はとても新鮮で、空港などで見かけたお客さまからは珍しそうな様子でお声掛けをいただき、このキャンペーンに賛同していることを運航乗務員からお話しさせていただきました。

乳がんは女性の罹患数が多く、早期発見、早期治療で治療する可能性がより高まる病気でもあります。大切な人や家族のためにも、正しい知識を広め、また乳がん検診を受けていただくきっかけになればと思います。

JALは、すべての女性がいきいきと活躍できる、乳がんのない世界を目指し、これからもピンクリボンキャンペーンの啓発活動に取り組んでまいります。



進める企業として「なでしこ銘柄」に選出されているJALでは、毎年10月の啓発強化月間にピンクリボンキャンペーンの取り組みを実施しています。今年も10月に先駆け、9月29日に「ピンクリボンフライト」を実施しました。当日はピンクのスカーフを着用した客室乗務員とグラウンドスタッフ、ピンクの肩章を着用した運航乗務員が、エステイロージャーグループのスタッフの皆さまと一緒に、知識啓発カードを配布するなどの啓発活動を行いました。

「検診をまだ受けたことがなかったけれど、この機会に行ってみようと思います」という女性のお客さまや、「カードを家族に渡します」という男性のお客さまもいらっしゃり、ピ



出発前の整備場見学の様子

JALは国際イベントISTSを応援します

国立高等専門学校機構*1が毎年開催している国際イベントISTS*2が今年にはトウルク市（フィンランド）で開催されました。本イベントはグローバルリーダーシップを育むことを目的に国立高等専門学校と海外提携校の学生が「持続可能な社会構築への貢献のための科学技術」をテーマに英語でワークショップを行うもので、今年で7回目を迎えます。JALグループはこうした取り組みに共感し、皆さまの渡航をサポートすると共に、海外空港でエンジニアとして働く国立高等専門学校OBによる特別講演会を実施しました。今後もJALはチャレンジする人を応援します。

*1 全国の国立高等専門学校の組織団体

*2 The International Seminar on Technology for Sustainability



2015年9月、全国連加盟国（193カ国）により「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals: SDGs）」が採択されました。2030年までに、貧困や気候変動、平和的な社会などの17の目標を達成すべく、JALグループも社会課題の解決に取り組んでいきます。

今回のテーマに当てはまる目標



■私たちが取り組むCSR活動に関する詳細は、こちらでもご覧いただけます。

www.jal.com/ja/csr/

いつもと違う、ピンク色の肩章を着用した運航乗務員に、お気づきになりましたか？